

建設経済常任委員会報告等の結果について

建設経済常任委員会への報告について

1. 日時

9月6日（木）

平成30年度9月藤沢市議会定例会 建設経済常任委員会

2. 委員からの質問

- ① 重点施策の団地再生についてだが、戸建て、マンション、所有、賃貸など、団地の範囲はどこまでか。
また、個人所有の建物に対して踏み込んだ施策になるのであれば、非常に難しい施策になるのではないか。
- ② 市営住宅への入居相談を受けることがあるのだが、中々結びつかない。重点施策にある「居住支援協議会」とはどのようなものなのか。
また、どのような支援を行うのか。
- ③ 新婚・子育て世帯に対する家賃補助の検討はどのようなになったか。
- ④ 市営住宅の応募状況や、重点施策にもあるので新たな市営住宅の整備も検討する必要があるのではないか。

パブリックコメントの結果について

1. 実施期間

9 / 10 (月) ~ 10 / 9 (火)

2. マスタープラン (案) 配架場所

住宅政策課、市役所総合案内、市政情報コーナー、各市民センター・公民館
市のホームページ

3. 意見など

1件目：9月25日

「藤沢市住宅マスタープランにおける「児童養護施設退所者」への支援」として退所者に対するハウジングファーストを藤沢市においても取り入れてもらいたい。

意見者は、市内で児童養護施設退所者等のアフターケア事業を行っているということで、ここでは住居に関する相談の占める割合が高く、初期費用の問題、親権者を頼れないがゆえに保証人や保証会社の審査の問題、また、緊急連絡先や身元引受人の課題など、多くの課題がある。

仕事を失うと同時に住居も失ってしまい、ドロップアウトの問題や高校を中退したことによる施設の退所に追い込まれる課題など、住居に関する相談が多い。

また、住居が無いがために、若い頃から多くの選択肢が狭められている。

そこで、藤沢市住宅マスタープランの中で、ハウジングファーストとして、住居支援の検討する場に民間の福祉関係者を入れてもらいたい。

2件目：10月9日

外国籍の方の住居に対する相談について、外国籍の方がそれぞれの職場や市内に9か所ある日本語教室などで相談をしているのが現状である。

少子高齢化が進行する中で、労働力不足が予測され、これを補うために外国籍の方が増加する傾向にある。

また、住宅問題とは別だが、災害時における外国籍市民に対する情報の提供や、緊急連絡先等の課題も早急に解決する必要がある。

このような現状から、市で対応できる場を設けてもらいたい。

3件目：10月10日

精神障がい者の住居を探す際に、応じてくれる不動産屋がなかなかなく苦勞している。グループホームの拡充や、分かりやすい手続き方法の情報発信をしてほしい。

生活保護の住宅扶助費が下がり、家賃が上限を超えるので転居するよう言われたことがあるが、障がいのある方にとっては、健康などの状態が悪化することがあるので、これまでの住まいの場が奪われることのないよう住宅政策をお願いしたい。

各地区郷土づくりの意見等（概要）

1. 各地区での意見交換

期間：8／7（火）～10／9（火）

場所：各市民センター及び公民館

2. 主な意見等

片瀬地区

片瀬では、空き家をテーマに地区集会を2回開催したが、現在はひと段落という形になっているが、その後の藤沢市の空き家はどうなっているのか。特定空き家の状況も含めて聞きたい。

村岡地区

市が空き家対策を行っていることを知らなかった。もっとアピールすべき。

鵜沼地区

住宅確保要配慮者について、発達障がいの子供がいる家庭はよく断られる実情がある。障がいのある人に家を貸すなら、一般の世帯に家を貸したいというのが大家の気持ち。ただ、鵜沼地区は若い世帯がよく入ってくるので、鵜沼地区の課題で要配慮者についての記載がないが、考えてもらいたい。また、住宅確保要配慮者に対する居住支援法人が神奈川県居住支援協議会で2つ藤沢市にある。しっかり連携してもらいたい。

湘南大庭地区

湘南ライフタウンができて40年ほど経過しており、道路やまちをもっとよくしていきたいと考えているが、これから10年、20年と経つとオールドタウンと化してくる。市と力を合わせていきたい。湘南ライフタウンの再生方針を決めるための協議体を組織してほしいと考えているが、具体的にどのように考えているのか。

遠藤地区

（耐震性に関して）市で行っている耐震性の診断や耐震改修に対する支援はあるのか。（今回の説明で）遠藤地区では、耐震性の低さという認識を周知する必要があると感じており、今後、郷土づくり推進会議等で耐震性について検討させてもらう。

藤沢地区

高齢者が賃貸住宅の入居を拒否されるようなことがあるが、そういったことについての対策はあるのか。

長後地区

市の方向性としては、農地を住宅地にしていくというよりも、既存の住宅を活用していくという方向性なのか。

湘南台地区

資料を見た限りでは高齢者に対する目玉の施策がない。大々的にアピールするのがほしい。例えば、コミュニティバスやコミュニティハウスなど。

辻堂地区

町内会に加盟する仕組みを検討してもらいたい。今は、引っ越ししてきても、町内会に参加せず、ゴミは勝手に捨てますなど入らない状況がある。住みやすい街をつくるために、人とのつながりがあってまちづくりと考えるので、町内会に加盟する仕組みを考えてもらいたい。

六会地区

「誰もが安心して～」とあるが、具体的に入れないと誰のことを指しているのか、計画として誰を対象としているのかわからない。また、空き家対策について、(全国的な空き家というものもあるだろうが)表札がない家が空き家なのか、藤沢市の空き家対策とは何ぞやというところを教えていただきたい。

善行地区

知らない人から藤沢では、保育園が少ない、一方でマンションが多いなどや有料老人ホームでは、年金だけでは入れないなどの話を聞く。自分自身もそうだ。住宅を売っても、料金が高く(家賃?)高齢者向けの住宅に入れないという不安がある。

明治地区

明治地区には昔は住宅が少なかったが、今ではとても増加している。日曜日などは細い道路に車の交通が多く、地区の困りごととなっている。昔道路を拡張するように市に掛け合ったが、予算がないとのことで拡張されなかった。明治地区にはそういった狭い道路が多くあることを忘れないでもらいたい。

※ 御所見地区・・・11月6日「まちづくり推進協議会」と意見交換を実施予定。